

公立学校における臨時的任用・任期付採用の教職員及び会計年度任用職員 の人事評価要綱

1 目的

臨時的任用・任期付採用の教職員及び会計年度任用職員が職務を遂行するにあたり、発揮した能力及び業績への貢献を公正に把握し、能力・実績に基づく人事管理を行うことで、組織全体の士気高揚と公務能率の向上につなげるとともに、職員の勤務意欲の向上と能力の育成を図ることを目的とする。

2 被評価者の範囲

兵庫県立学校(以下、県立学校)及び兵庫県市町組合立学校(以下、市町組合立学校)に勤務する臨時的任用・任期付採用の教職員及び会計年度任用職員(市町組合立学校においては、県費負担の者。以下、教職員という)のうち、次に掲げる者について実施する。

(1) 教育職員

講師等教員免許状を必要とする職や、児童・生徒を指導する職等に就いている者

(2) 事務・技労職員

(1) 以外の者

3 評価の時期

評価の時期は、10月1日とする。

任用の日から3か月を経過していない場合は、任用された日から3か月を経過した時期とする。

4 評価の期間

評価の期間は、任用の日から当該評価の時期までとする。

5 評価の方法

(1) 教育職員

ア 評価の様式

様式1により評価を行う。

イ 1次評価

教頭が人事評価票の各項目の定義に照らして絶対評価(a・空欄・c)を行う。

1次評価	基準
a	学校教育活動の充実に寄与するとともに、円滑に職務を遂行している
空欄	滞りなく職務を遂行している
c	概ね滞りなく職務を遂行しているが、一層の努力を期待する。

ウ 総合評価

① 校長が、次の表に照らして絶対評価(A・B・C)を行う。

総合評価	基準
A	特に良好である
B	良好である
C	概ね良好であるが、一層の努力を期待する

② 総合評価を決定するにあたり、校長は、必要に応じ1次評価結果を調整できるものとする。

③ 校長は、3に定める評価の時期以降任期の満了までの間、特に必要があると認める場合、総合評価を変更できるものとする。

(2) 事務・技労職員

ア 評価の様式

様式2により評価を行う。

イ 1次評価

県立学校においては教頭、事務長または船長が、市町組合立学校においては教頭が人事評価票の各項目の定義に照らして絶対評価(a・空欄・c)を行う。

1次評価	基準
a	学校教育活動の充実に寄与するとともに、円滑に職務を遂行している。
空欄	滞りなく職務を遂行している。
c	概ね滞りなく職務を遂行しているが、一層の努力を期待する。

ウ 総合評価

① 校長が、次の表に照らして絶対評価（A・B・C）を行う。

総合評価	基準
A	特に良好である。
B	良好である。
C	概ね良好であるが、一層の努力を期待する。

② 総合評価を決定するにあたり、校長は、必要に応じ1次評価結果を調整できるものとする。

③ 校長は、3に定める評価の時期以降任期の満了までの間、特に必要があると認める場合、総合評価を変更できるものとする。

6 評価結果の活用

評価結果に基づき、校長が課題等の改善及び能力開発に向けた指導・助言を行うとともに、翌年度以降の任用の参考とする。

7 人事評価票の提出等

- (1) 県立学校の校長は、教職員の人事評価票を県教育委員会が定める日までに県教育長に提出する。
- (2) 市町組合立学校の校長は、教職員の人事評価票を所管教育委員会が定める日までに、所管教育委員会の教育長に提出する。
- (3) 所管教育委員会は、人事評価の終了後、別に定める方法により、評価結果の概況を県教育長に報告する。

8 評価結果の開示と指導

校長は、教職員から評価結果の開示の希望がある場合及び教職員の職務遂行状況等に課題があると認められる場合には、評価結果を当該教職員に開示し、教職員の課題等の改善に向けた指導・助言に努める。

9 苦情の申出

前項の規定により開示を受けた教職員は、評価の結果について苦情があるときは、県教育長が別に定める方法により、所管教育委員会の教育長に対し、苦情の申し出を行うことができる。

10 学校運営に係る提言シートの提出

- (1) 教職員は、学校運営の充実・改善のための提言シートを作成し、校長及び所管教育委員会に提出する。
- (2) 校長は、教職員から提出された提言内容を学校運営の充実・改善に向けて活用する。
- (3) 所管教育委員会は、教職員から提出された提言内容を学校支援に向けて活用する。
- (4) 提言シートの作成及び提出の方法等については、県教育長が別に定める。

11 その他

この要綱に定めるもののほか、人事評価の実施に関し必要な事項は、県教育長が別に定める。

附則

この要綱は、令和2年5月1日から施行する。

公立学校における臨時的任用・任期付採用の教職員及び会計年度任用職員
の人事評価票（教育職員）

所属名		職名		ふりがな 名前		年齢	
任用形態					在職年/任用上限		
担当教科(科目)※				時間講師等で他校と兼ねている場合、その学校名※ (本務校で対応)			
週当たり時間数※ (非常勤のみ)	時間						
校務分掌※				部活動※			
評価項目	評価の観点			1次評価(教頭)	特記事項 (下記留意事項2参照)		
				a・空欄・c から選択			
社会性等	適切な言動等に留意し、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。						
積極性等	前向きにどんな仕事にも責任を持って取り組んでいる。						
共感性等	児童生徒の生活背景や内面の理解に努め、共感的理解にもとづく指導を適切に行っている。						
協調性等	児童生徒や教職員とコミュニケーションがとれ、円滑な人間関係を築くことができる。						
堅実性等	的確な対応で、業務を着実にこなすことができる。						
自律性等	働きがいのある職場づくりを意識しながら、計画的に仕事を進めることができる。						
教科等の 専門性	専門性が高く、指導等を工夫している。						
総合評価 (校長)	A・B・Cから選択		所見(Cの場合は、必ず理由を記載すること)				
1次評価				総合評価			
役職名	名前			役職名	名前		

【記載にあたっての留意事項】「※」印の項目については、該当するものについて記載してください。

《1次評価》

- 下記基準に従って、教頭が各評価項目に「a・空欄・c」の1次評価（絶対評価）をつけてください。ただし、「空欄」の場合は選択不要です。
- 特記事項があれば記載してください。ただし、「c」評価の項目については、必ず理由を記載してください。

【基準】

a：学校教育活動の充実に寄与するとともに、円滑に職務を遂行している

空欄：滞りなく職務を遂行している c：概ね滞りなく職務を遂行しているが、一層の努力を期待する

《総合評価》

- 下記基準に従って、校長が「A・B・C」の総合評価（絶対評価）をつけてください。
- 総合評価の結果に関し、「C」評価の場合は必ず所見欄に理由を記載してください。

【基準】

A：特に良好である B：良好である C：概ね良好であるが、一層の努力を期待する

公立学校における臨時的任用・任期付採用の教職員及び会計年度任用職員
の人事評価票（事務・技労職員）

【被評価者】

所属名	職名	ふりがな 名前	年齢	任用形態	在職年/任用上限

【1次評価】

評価項目	基準	1次評価	特記事項 (下記留意事項2参照)
		a・空欄・c から選択	
使命感	<ul style="list-style-type: none"> 教育に対する信念と熱意を持ち、責任をもって職務を遂行している。 児童生徒、保護者や地域と公正・公平な立場で接している。 		
企画力・行動力	<ul style="list-style-type: none"> 様々な教育課題に対して積極的な対応を行っている。 教育関係の施策を理解し、的確な対応を行っている。 		
協調性	<ul style="list-style-type: none"> 関係者と課題を共有するなど、相互理解に努め、連携して職務に取り組んでいる。 相手方の意見を理解して発言、質問することができる。 		
社会性	<ul style="list-style-type: none"> 適切な言動等に留意し、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。 		

【総合評価】

A・B・Cから選択		所見（Cの場合は、必ず理由を記載すること）
総合評価		

【評価者】

1次評価		総合評価	
役職名	名前	役職名	名前

【記載にあたっての留意事項】

- 色付きのセルに必要事項を入力してください。
- 行、列の追加・削除、幅やフォントは可能な限り変更しないでください。

【1次評価】 1 下記基準に従って、県立学校においては教頭、事務長または船長が、市町組合立学校においては教頭が各評価項目に「a・空欄・c」の1次評価（絶対評価）をつけてください。ただし、「空欄」の場合は選択不要です。

2 特記事項があれば記載してください。

ただし、「c」評価の項目については、必ず理由を記載してください。

【基準】 a: 学校教育活動の充実に寄与するとともに、円滑に職務を遂行している
空欄: 滞りなく職務を遂行している

c: 概ね滞りなく職務を遂行しているが、一層の努力を期待する

【総合評価】 3 下記基準に従って、校長が「A・B・C」の総合評価（絶対評価）をつけてください。

4 総合評価の結果に関し、「C」評価の場合は必ず所見欄に理由を記載してください。

【基準】 A: 特に良好である B: 良好である C: 概ね良好であるが、一層の努力を期待する